

10年後、 想像できますか？



情報流通行政局放送政策課国際係長

輿石 美和

KOSHIISHI Miwa

平成13年 4月 総務省採用
総合通信基盤局総務課
平成13年 7月 総合通信基盤局国際部国際政策課国際機関室
平成15年 8月 大臣官房政策評価広報課
平成17年 8月 統計局統計調査部経済統計課事業所・企業統計室
平成18年 4月 統計局統計調査部経済基本構造統計課
平成19年 4月 総合通信基盤局総務課(育児休業)
平成24年 6月 情報通信国際戦略局情報通信政策課管理室
平成25年 1月 情報通信国際戦略局情報通信政策課管理室主任
平成25年 7月 情報通信国際戦略局情報通信政策課管理室調整係長
平成26年 8月 電気通信紛争処理委員会事務局調査専門官
平成28年 7月 現職

『より便利で信頼できる主要なメディアとしての放送』

放送は、素早く信頼できる情報を国民視聴者に安定的に提供するメディアの一つとして、これまで中心的な役割を担ってきました。現在、インターネット上での動画配信サービスといった視聴環境の変化によりテレビ離れが進んでいると言われています。総務省では、これからもより便利で信頼できるサービスを受けられる主要なメディアとしての役割を「放送」が担っていけるよう、様々な課題に取り組んでおり、その中で現在、私は諸外国の放送制度等の調査・分析を行っています。

例えば、英米等では、テレビ放送はインターネットでも同時に配信され、スマホなど様々なデバイスでも放送と同時にテレビ番組を視聴できる環境を整備しています。社会・経済・文化的な背景の違いにより様々な事情があり、単純に外国の事例を日本に当てはめることはできませんが、少しでも課題解決の一助になればとの思いで日々の業務に取り組んでいます。

『10年後、あなたはどんななってほしいですか』

これは、私が総務省(当時郵政省)を官庁訪問した時に面接官だった先輩職員から聞かれ、とても印象に残った質問です。当時の私は「仕事も家庭も育児もこなせるようになってほしい」と答えました。そう答えたものの、入省当時は本当に実現できるのだろうか、と漠然とした思いを持っていましたが、十数年経った今では制度が充実し、「ワーク・ライフバランス」の考え方も浸透して、総務省にはたくさんのママさん職員が活躍しています。また、数年後はこんな風になってほしいと思えるようなロールモデルとなる先輩もたくさんいます。

私には現在9歳と7歳の娘がいます。決して胸を張って「すべてこなしている」と言える自信はありませんが、家族や職場の上司、同僚の理解と協力のおかげで楽しく充実した日々を送ることができています。

皆さんは『10年後』、ご自身のどんな姿を想像されますか？



Private Time

平日あまり一緒にいられない分、休日はなるべく子供たちの好きなことを優先して家族で過ごすようにしています。山登りやアスレチックなど、体を動かすことが多いです。この日は動物好きの二女のリクエストに応え、犬の散歩が体験できるテーマパークへ。子供たちのためとは言いつつ、私自身のリフレッシュにもなっています。

Some One Week

Monday

金曜日に予定している有識者会議で使用する資料の仕上げ。グラフなどを使用し、わかりやすく視覚に訴える資料になるよう工夫します。

Tuesday

議員から要求があった諸外国の放送制度についての資料を上司と相談しながら作成。

Wednesday

諸外国のテレビ視聴率について有識者の方と打ち合わせ。大変勉強になります。



Thursday

米国で新しい放送関連サービスが開始されたとの報道を受け、詳細を調べます。

Friday

放送に関する有識者会議を開催。真剣な議論が繰り広げられました。